

物流コストを可視化するABC/ABM

ブラックボックス化する物流コスト

物流費の総額は把握していたとしても、顧客や製品ごとの物流コストを正確に把握している企業はそう多くありません。賃借料やシステム費などの間接費を売り上げや数量で配賦してしまうことで、実態とかけ離れた原価になっていることはよくあることです。経営環境が急速に変化する中、そのような状況では事業評価や物流コストの適正化を適切に行うことが困難だといえます。

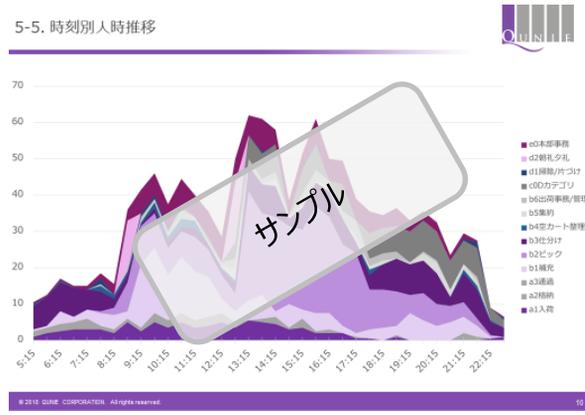
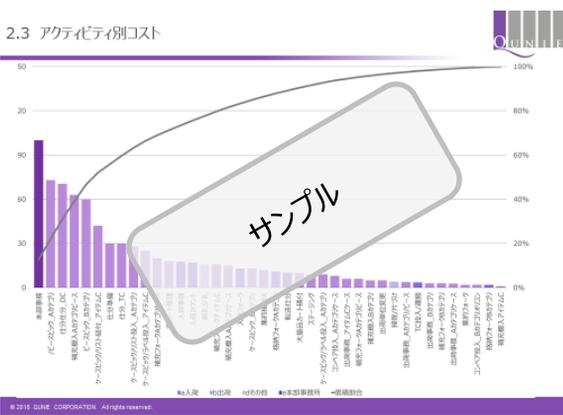
活動基準原価管理 (Activity Based Costing) は、物流機能単位の原価を算出するための管理会計の技法です。コスト適正化の第一歩として、この技法を用いて実際に行っている活動 (= Activity) を基準とする物流コストを導出することで実態を可視化し、その情報を活かしてコスト管理を行うことが重要だと考えます。

ABC (活動基準原価計算) のアプローチ

ABC (Activity Based Costing : 活動基準原価計算) は作業をコストで可視化し、部門/企業において合理的に、改善の意思決定を行うための技法です。実施の際は、以下のステップで進めます。



- 現状把握**
 - 現場視察・業務ヒアリングによる現状業務把握
 - 現状課題の整理
 - 初期仮説の構築
 - データによる課題仮説の初期検証
- 調査設計**
 - 対象拠点のActivity設計
 - (実調査の場合) 調査動線・ルール・人員配置の設計
 - 調査表作成
- 調査**
 - 人時計測・記録
 - 分析用動画撮影
 - 現場ヒアリング
- コスト分析**
 - 直接費・間接費の配賦
 - Activity別の総コスト試算
 - 特性格別の課題抽出



ABM（活動基準原価管理）の導入

ABCによって活動や商品ごとのコストが明確になることで、関係者同士の共通認識を作ることができます。また、コスト分析結果をもとに改善に向けた具体的なアクションを進めることができます。

<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> • コストドライバーに基づいたコスト実態の把握 • 物流費の透明化 <ul style="list-style-type: none"> →どのようなサービス代価なのかを明確化 →現場作業効率に見合う単価の設定
<p>実現可能な方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 物流費を高めている要因の追求、コスト削減の取り組みへの着手が可能 • 根拠のあるメニュープライシングや価格交渉が可能
<p>実現可能なアクション</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ABMをベースとした物流業務改善への着手が可能 • 商品別・顧客別物流費の把握が可能 • 煩雑な物流条件においても見積もりが容易（対応が可能）

Why QUNIE ?

QUNIEのコンサルタントは、豊富な業務経験とコンサルティング経験をもつ者だけで構成されています。QUNIEは、経験と知識、コンサルティング技法を駆使して価値の提供に努めます。

<p>業務を熟知したコンサルタント</p>	<p>QUNIEは、コンサルティング会社でのプロジェクト経験や、事業会社での業務経験を有したコンサルタントで構成されています。物流業務の高い専門性とコンサルティングスキル、情熱を持ったコンサルタントが、貴社と一体となって改革をご支援いたします。</p>
<p>豊富なプロジェクト実績</p>	<p>製造業や小売業、卸売業、物流業など、さまざまな業界の事業者様へロジスティクス改革のご支援を行った実績がございます。また、日本国内のプロジェクトだけでなく、グローバルプロジェクトの経験も豊富であり、お客様の海外展開を幅広くご支援いたします。</p>
<p>改革をトータルで支援</p>	<p>戦略策定や事業改善モデルの策定にとどまらず、改善モデルの導入や効果測定まで、トータルで改革をご支援いたします。また、QUNIEはお客様とOne Teamを組織し、一体となって新規オペレーションが定着することを絶えず志向して、サービスの提供に努めます。</p>

株式会社 QUNIE

〒100-8101 東京都千代田区大手町2-3-2 大手町プレイス イーストタワー11F
 TEL: 03(3517)2292 FAX: 03(3517)2293
 Email: info@qunie.com <https://www.qunie.com>

Trusted Global Innovator
 NTT DATA Group

NTT DATA